

≪ 6月の行事予定 ≫

日	曜	行事等	講師等	給食
1	土	1年転地学習		
2	日			
3	月	1年代休・ノ一部活ディ		2・3
4	火		子サ	1・2・3
5	水	全校集会・耳鼻科検診・水着販売・定時退勤日	子サ・SC	1・2・3
6	木	水着販売・英語CD販売・ノ一部活ディ		1・2・3
7	金	生徒総会	SW	1・2・3
8	土	ひまわりスポーツ大会		
9	日			
10	月	教育相談・プール開始・ノ一部活ディ		1・2・3
11	火	期末考査1週間前		1・2・3
12	水	定時退勤日	子サ・SC	1・2・3
13	木			1・2・3
14	金		子サ	1・2・3
15	土	市総体(陸上競技)		
16	日	市総体(陸上競技)		
17	月	市総体(陸上競技)予備日		1・2・3
18	火	期末考査	子サ	
19	水	定時退勤日	子サ・SC	
20	木	市総体壮行会・避難訓練・ノ一部活ディ		1・2・3
21	金		子サ・SW	1・2・3
22	土			
23	日			
24	月	ノ一部活ディ		1・2・3
25	火	自殺予防講演会・第1回学校運営協議会		1・2・3
26	水	定時退勤日	子サ・SC	1・2・3
27	木	ノ一部活ディ(市総体出場部は活動可)		1・2・3
28	金		子サ・SW	1・2・3
29	土	三田市総体・陸上通信大会		
30	日	三田市総体・陸上通信大会		

勉強は何のために (5月9日全校集会より)

勉強は何のために…と聞かれたら、迷わず「人々が幸福になるために」と答えます。

あるスペシャル番組が「ドクターの24時間」という特集をやっていました。交通事故で運ばれてくる患者さんをお医者さん、看護師さんが一体となって、チームワークで患者さんに手当を行います。一刻、一秒遅れることなく、一つでも手順を誤ってはいけなく、尊い命のために、ベストを尽くしていました。

家族みんなが、息を飲んでタメ息をつきました。私がこう言います。「すごいなあ！」「お医者さんも、すごいなあ、看護師さんもすごいでえ！」家族が私に言います。「あんた、ちゃんと働いとるやろな？」「あんた！学校でウソ教えてないやろなあ…？」「ほんま、授業中に、変なこと言うてないか？」 私が、必死で言い返します。…「なんでやねん！」

人はいつか社会のために、世の中のために生きていくと大きな使命に出会うはず。たとえ、どんな仕事や職業につこうとも、それは必ず社会に貢献しているのです。社会に自分が好き放題に、勝手に山を築いていくのではなく、社会に人々が必要としている穴が、実は地球にはデコボコといくつもあいていて、その穴を埋めていくようなもの。そうすることで、穴があいたデコボコが平らになり、社会が、地球が丸くなっていく。丸い居心地のよい社会のためには、みんなひとりひとりが必要なんです。

そうじゃなかったら、わたしたちは、ただ単に「机の上で知識をためている。」という勉強にすぎません。(世の中には、それを悪いことに使う人もいますね…)知識は大切です。知恵の素は、たしかに知識でもあるからです。

しかし…、「自分のために勉強する。」 という時代は終わるのです。よりよい社会をつくる一員になる。そのために学習をしていこう。

君がしっかり勉強したことを世の中のために生かしてってください。今はお世話になっている世の中に、やがて世の中のためになることを自分が気づかぬうちにしていくようになる。学校とはそのための場所であり、学級はそのための成長の場所となる場所なんです。

さて、君は変身できたかな？「初心忘るべからず。」 出発はいつも真っ白で、いつも気持ちが高ぶっている。だから、みんな「今度はがんばるぞ！」と言うし、心に誓う。だけど、「最初の決意、最初の緊張感ほど忘れやすいものはないんですよお〜。」と昔の人は教えてくれている。だから、「初心忘るべからず。」という言葉があるのです。それぞれの学年に大きな行事がありますね。これも勉強。チャンスです。

行事で、クラスに力が根つき始めます。その力が2学期以降の体育大会、文化祭にいきてくるんです。全部つながっていくんです。

5月12日～14日 3年生修学旅行 長崎へ 1日目は雨でしたが、2日目、3日目は快晴でした。

平和祈念公園被爆遺構巡り



長崎班別研修 眼鏡橋



九十九島パールシーリゾート



ハウステンボスグループ研修



2年生トライやる、1年生転地学習は、次号で紹介いたします。

子サ：子どものサポーター  
 SC：スクール・カウンセラー  
 SW：スクール・ソーシャル・ワーカー  
 ＊自動音声応答メッセージ対応…17:30～7:45  
 〔最終下校〕17:30  
 土、日、祝日・学校閉鎖日は、終日となります。  
 欠席・遅刻などのご連絡は、保護者の方より7:45～8:15までの間に電話でお願いします。8:20～8:25の時点でご連絡がない場合は生徒の安全確保のため、緊急連絡先に連絡させていただきますので、ご理解、ご了承下さい。  
 〔7月の予定〕  
 1市総体予備日、2全校集会、5～11個人懇談、13～14丹有総体  
 13吹奏楽批評会、15丹有総体予備日、18大掃除・防犯教室  
 19終業式・壮行会、7/21～8/27夏季休業、22～24学習相談、  
 24～31県総体、27～28吹奏楽西阪神地区大会

## 修学旅行を終えて(感想)

### 【スローガン To the top～みんなの一步で見える景色～ を達成するために頑張ったこと】

- ・1日目前半と2, 3日目のように皆で声をかけ合いながら動きを早くすることで「みんなの一步」というところで、そのことをすることによってハウステンボスや船での楽しさが増え良い景色が見れた。
- ・まずは実行委員長として、ルールやマナーに気を付けたり、時間厳守やみんなへの呼びかけができたと思います。そして班長として1日目の反省を生かし、声かけなどで2, 3日目を過ごせたと思います。
- ・1日目は注意されることもあったけれど、2日目、3日目は班長として声をかけたり、先に動いたりできました。レクも行くまではとても心配だったけれど先生方の協力もあり、自分もとても楽しく良い思い出になりました。
- ・時間やマナーを守ることを一番頑張りました。班別自主研修やハウステンボスでは集合時間の前に集合したり、マナーの面では道に広がって歩かないなど、決まりを守り、班全員で協力し楽しむことができた。
- ・1日目は先生の話聞く時に話している人がいたり、班長の仕事もしっかりできなかつたけど、みんなに2日目からお願いすることで楽しく思い出に残る修学旅行になったと思います。
- ・それぞれが自分のやることをやって班やクラスで協力して頑張った。自分たちでしおりを見て先生に次にすることを聞かずに行動しようと心がけた。レクも誰かが抜けたらダメだけど、全員で盛り上がったと思いました。

### 【平和学習で学んだこと】

- ・永井博士の伝えなかった思いやどれだけ大きな被害があったのかを碑巡りで学びました。町全体が火災や熱線によって焼けた人々がいて、それを写真や実物で見たから授業で習ったものとは全然違い、当時どんな苦しみを持っていたのか痛感しました。
- ・平和祈念像の左手が「原爆の脅威」を表していて右手は「平和」を表していることがわかり、像の意味が分かりました。碑巡りでガイドの人がいろいろ説明してくださって平和のことについて考えることができました。
- ・平和学習では戦争の悲惨さを目と手で触れることで感じました。ビンや鉄は熱線で曲がってしまっていたり、壁がすごく黒ずんでいたりと戦争の時の状態で残されていたので少し怖かったです。
- ・自分の目で実際に見たり、現地に来たりして改めて戦争の恐ろしさを感じました。絶対に戦争は経験するべきことではないと思ったので、早く世界の戦争が終わってほしいと思いました。
- ・今まで習ってきたようなことも言っていたりしたけど、実際に行ってみることで、よりそこに込められた思いが伝わってきて昔の人がどういう思いで生活していたのかより詳しく知れた気がした。
- ・原爆を落とされた場所に行くと、その原爆資料館を見ると、今まで道徳で勉強したよりもはるかに怖く恐ろしい原爆が長崎に落とされたことがわかりました。今回学んだことを次につなげたい。

### 【3日間で自分が成長したなと思うこと】

- ・みんなをまとめる力が成長したと思います。初日は全くまとめられていなかったけど、時間が経つにつれて静かに並んだり、クラス全体をまとめることができたと思ったからです。
- ・次することを先生に聞いたりせず、しおりを見て自分で考えて行動することが、成長したなと思いました。集合の時とかは声をかけ合ったりすることができるようになったと思います。
- ・この3日間で自分は視野が少し広がったかなと思います。周りを見て自分が何をしなければいけないかななどを、班長としての責任を持って行動していたので、そこは少し成長したと思います。
- ・今までだったら、レクに有志で参加しようと絶対思わなかったけれど、一緒にできて本当に良かったです。これからはいろいろなことに挑戦してみたいです。
- ・最初は班員とあまりしゃべっていなかったけど、この修学旅行を通して仲を深めることができました。コミュニケーションをとり、みんなで話し合い達成する力がついたと思います。
- ・一番意識したことは時間でした。自分ひとりが遅れて皆の時間を奪うとなると責任重大だし最低だと思っていたので3日間のうち時間の先読みや管理がうまくなったと思います。

### 【これからの生活で活かしたいこと】

- ・班長として声かけをするのは大切だなと思いました。声かけを聞くとみんな気づいて静かにしたり、早く集合したりできたからです。あと、スローガンにもあるように「みんなの一步」で何倍も楽しくなることがわかりました。
- ・修学旅行では、みんなとの絆も深まり、時間などのルールも守ることができたので、その経験を活かして学校生活はルールをしっかり守り、みんなを引っ張っていきたいです。
- ・先のことを考えて自分で行動するというのを学んだので集まったりする時とかに、みんなで声をかけ合ってサツとできるようにしていきたいなと思いました。
- ・今まで仲良くなかった人とも仲良くなれたので、自分から話しかけていったり、全員が楽しいと思えるように周りを見て行動することを活かしていきたい。
- ・班やクラス、学年のみんなで楽しむ時は全力で楽しむことや、仲間と協力し助け合うことを続けていきたいと思います。
- ・自分が成長できた時間のことなどについては修学旅行だけで終わるのではなく、これからも続けていこうと思う。また班やクラスの人たちと協力し合った団結力はこれからの行事で活かしたい。